



DX推進ビジョン

2023年12月1日 策定

代表取締役社長
平山 善一

(株)平山

DX推進ビジョン

1. DXツール活用による業務効率化

(1)社内向けRPAシステム・ローコードでのアプリ開発

①RPAシステム開発による工数削減

②ローコードでのアプリ開発及びアプリ購入における間接部門作業の業務標準化・長時間労働の軽減

(2)生成AIの組織的な活用

①chat GTPの活用による既存業務のAIへの移行

②GAMMA利用による資料作成の短縮化

③自社開発の音声データ文字起こしツールと生成AIとの連携

2. 人材育成

(1)社内DX人材育成

①計画的な社内データサイエンティストの育成

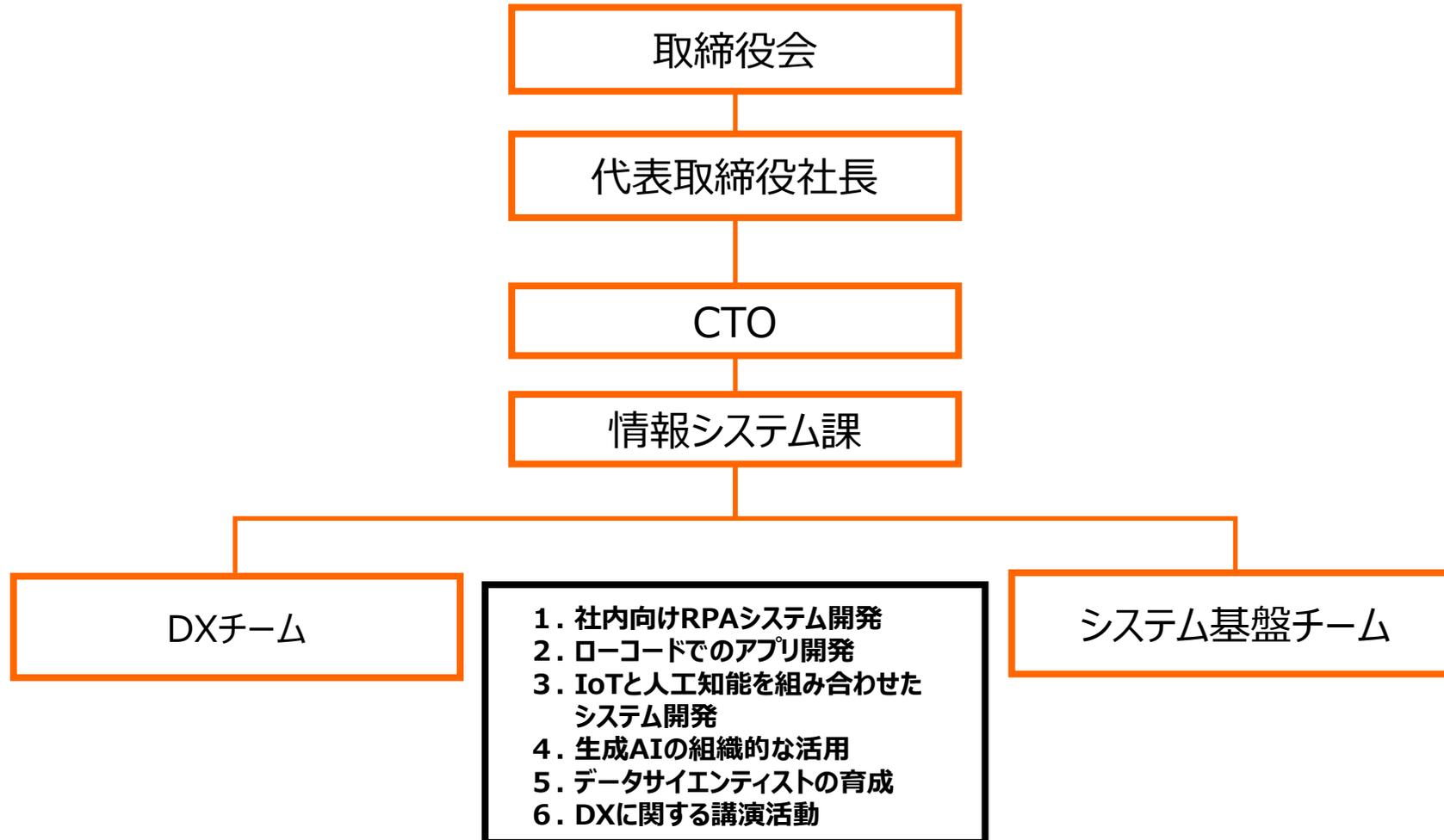
②chat GPTのプロンプトエンジニア育成

(2)DXに関する普及活動

①業界団体や主要な国立大学等での講演活動

DX推進の取り組み – DX推進強化における組織編制

2023年4月より、情報システム課の体制を強化し、RPA開発や生成AIを含めた人工知能の実務実装を推進するDXチームを立ち上げ、迅速に課題解決を実現できる体制を構築しています。



DX推進の取り組み－推進計画

DXビジョンに基づく推進項目

1. DXツール活用による業務効率化

2. 人材育成

上記計画達成時の指標

- 社内向けシステム開発における業務効率化向上
- 人材育成

推進計画

(1)社内向けRPAシステム・ローコードでのアプリ開発

- RPAシステム開発による工数削減
- ローコードでのアプリ開発及びアプリ購入における
間接部門作業の業務標準化・長時間労働の軽減

(2)生成AIの組織的な活用

- chat GTPの活用による既存業務のAIへの移行
- GAMMA利用による資料作成の短縮化
- 自社開発の音声データ文字起こしツールと生成AIとの連携

(1) 社内DX人材育成

- 計画的な社内データサイエンティストの育成
- chat GPTのプロンプトエンジニア育成

(2)DXに関する普及活動

- 業界団体や主要な国立大学等での講演活動

業務削減時間 **1800時間**

資格取得者 **2名**

DX推進の取り組み－DX戦略

DX戦略

社内向けシステム開発 における業務効率化

社内向けシステム開発における業務効率化のため、デジタル技術（社内向けRPAシステム・ローコードのアプリ開発・生成AIの組織的な実装等）を積極的に取り入れることでTPS（トヨタ生産）方式に基づいたムダの削減、納期短縮、自動化に取り組み続けます。デジタル技術を積極的に活用することで、人手不足と業務効率化を図ることにより、従前以上に付加価値の高いビジネスの提供ができるよう取り組んでいきます。

人材育成戦略

常にトップクラスのデータサイエンティストの育成ができるよう、社内でデータ分析実務スキル検定（CBAS）プロジェクトマネージャー級の資格取得者を増やします。また、産学連携等を通じて先端の知見のアップデートに努めます。これらのノウハウを未来を担う人材に向けてスキルアップする機会を講演会等を通じて提供していきます。

DX推進の取り組み－環境整備の具体的方策

1. DXツール活用による業務効率化

(1)社内向けRPAシステム・ローコードでのアプリ開発

①RPAシステム開発による工数削減

社内向けRPAシステム開発にて人事労務で手作業で行っていた雇用保険申請業務を自動化。
メール送付されるExcelデータを集約し、ブラウザに転記させることによりチェック・転記時間の削減を可能としています。

②ローコードでのアプリ開発及びアプリ購入による間接部門作業の業務標準化・長時間労働の軽減

Google AppSheet の利用による業務日報や勤怠アプリへの開発、また年調ヘルパーというアプリを利用することで年末調整をオンラインで実施するなど間接部門での作業の時間短縮を可能にし、長時間労働の軽減を実現している。

(2)生成AIの組織的な活用

生成AIを組織的に実装することにより時間と工数の削減を実現、必要なところのみチェックを割くことができるよう仕組み化を目指しています。

①chat GTPの活用による既存業務のAIへの移行

②GAMMA利用による資料作成の短縮化

③自社開発の音声データ文字起こしツールと生成AIとの連携

2. 人材育成

(1)社内DX人材育成

人材育成計画に沿った教育の実施し、社内でデータ分析実務スキル検定（CBAS）プロジェクトマネージャー級の資格を取得します。
社内プロンプトエンジニアが本社間接部門人材をプロンプトエンジニアへ育成しています。

(2) DXに関する講演活動

業界団体や主要な国立大学等にて未来を担う人材に向けてDXやデータサイエンスに関する講演会等を行っていきます。

DX推進の取り組み－今後の情報発信

現在、当社では情報システム課の体制を見直し、RPA開発や生成AIを含めた人工知能の実務実装を推進するDXチームを強化、TPS（トヨタ生産）方式に基づいたムダの削減、自動化等を目標に、社内業務改善から環境整備に取り組んでいます。

社内向けシステム開発にてデジタル技術を積極的に活用することで、業務効率化と付加価値向上を推進させております。

また今後の業務変革を実現するためにも、製造業界を主体として、DXコンサルティングを通じたデジタル化の構築を視野に前進したいと考えております。

合わせて、人材育成のために社内でのデータサイエンティストの育成、産学連携やデジタルツールも活用したDX・データサイエンスの講演会活動へ力を入れていきます。

すべてのみなさまに「仕事から得られる心の利益を大切に」「全社員の一心同体経営」の経営理念の基、質の高いDXコンサルティングをご提供できるように精進させていただきます。

当社では、今後もDXの推進の状況につきまして、ホームページの「DX推進ビジョン」として、随時、公開して参ります。

2023年12月1日 策定
代表取締役社長 平山 善一